

### 3. ITI 財別国際貿易マトリックス(および付属表) ~2008 年度版~

(財)国際貿易投資研究所作成の「ITI 財別国際貿易マトリックス」(以下「マトリックス」と呼ぶ)は、毎年作成しているもので、前年までの世界貿易の状況を品目別に貿易マトリックスのカタチで捉えることができることを目的に作成している。

次の2冊で構成している。

1. ITI 財別国際貿易マトリックス~2008 年度版
2. ITI 財別国際貿易マトリックス(付属表)~2008 年度版

マトリックスの作成にあたり、考慮した点は次のとおりである。

第1は、最新時点のデータ利用ができるマトリックスを作成すること。公表が早い主要国の電子媒体データを活用することで、最新時点の表の作成を可能にする。年次データの場合、翌年の6月~7月頃に作成できることを目指している。

2008年版に使用した貿易統計は53か国・地域数のデータである。IMFの統計書IFS(International Financial Statistics)2008年8月号掲載の世界貿易額と、53か国・地域の統計データをもとに作成したマトリックスの貿易総額と比べると、IFS掲載の輸出総額の約97.9%に相当している。

また、2007年の貿易額をもとに、貿易額が大きい国(地域)の順に並べ上位30か国を比較すると、マトリックスの作成対象国に含まれていないのは、輸入国の上位国ではアラブ首長国連邦、輸出額の上位国ではサウジアラビアとアラブ首長国連邦だけである。

なお、貿易額が上位50位以内にある国でマトリックスの作成対象国でないのは、輸入国ではサウジアラビア、イスラエル、イラン、ナイジェリア、輸出国ではイラン、ナイジェリア、クウェート、アルジェリア、イスラエルである。

そうした国々の貿易データを活用できるようになれば、マトリックスの作成に活かしていく方針である。

第2は、時系列データの利用を可能にすること。最新時点だけでなく複数年次のマトリックスを作成する。毎年、継続的に作成することを目標に多時点間の比較ができることを目指している。2008年時点における利用可能な時点は、1999年以降の9時点である。

ただし、過去に遡るほど、電子媒体で利用できる国/地域が限られるので、1998年以前のマトリックスの作成を予定していない。

第3は、輸出入総額だけでなく、財別・品目別のマトリックスを作成すること。各

国・地域の貿易統計が HS 関税分類に準拠しているので、HS 関税分類に基づいた品目別のマトリックスを作成する。

そのうえで、できるかぎり多くの品目のマトリックスが作成できることを目指している。

2008 年版では、総額を含む 96 品目を作成している。そのなかには、HS 分類の体系によらない IT 関連財、その部品（「IT 関連部品」）などがある。

今後は、世界貿易や日本の貿易の分析、日系企業の海外事業活動の分析に役立つ品目を増やし充実させていくことが課題である。

第 4 は、利用目的に応じて使い勝手の良いマトリックスに組換えて使用できること。そのために、世界の国・地域を網羅した「基本表」を作成する。そのうえで、目的に応じて国・地域を集約することで、利用目的に合致した小型のマトリックスに集約する。例えば、拡大 EU（27 カ国）に焦点を当てた表、中東産油国に焦点をあてた表などの作成である。

なお、「ITI 財別国際貿易マトリックス」（2008 年版）の統計書では、先の「基本表」から東アジアを中心に国・地域を選び、本書の用紙サイズに集約した表を掲載している。

第 5 は、貿易マトリックスの表に加え、さまざまな付属表を作成すること。付属表とは、マトリックスの表の中から特徴的なものを抜き出した表を指す。その中には、マトリックスのセルの中から貿易額が大きいものを選び出した「二国間貿易表」、特定の国・地域に注目し、当該国と他の国との関係を抜き出した「特定国貿易表」、財別に分かれている表から特定のセルを選んで作成する「品目別表」などがある。

「ITI 財別国際貿易マトリックス - 付属表」（2008 年版）の統計書には、これらの付属表のうち、多くの方の関心がある表を選び収録している。

第 6 は、電子媒体での利用が可能にするため、CD-ROM 版を制作すること。ITI 財別国際貿易マトリックスおよび付属表のデータは EXCEL 形式で作成している。このため、電子媒体での活用を図るため、印刷資料のほかに CD-ROM 版を作成する。

なお、CD-ROM 版は、「ITI 財別国際貿易マトリックス」と「ITI 財別国際貿易マトリックス - 付属表」の 2 種類がある。

## 1 . ITI 財別国際貿易マトリックスの見方

下表は ITI 財別国際貿易マトリックス〔基本表〕から東アジアに焦点をあてて作成したマトリックスの一部である。（列、行ともに非表示ないし割愛して一部分のみを表示している）

表頭（表の「列」）の国/地域名は、「Import to」の表示のとおり、輸入側を示してい

る。一方、表側（「表の行」）の国/地域名は、“Export from”の表示のとおり、輸出側を示す。

例えば、第1行目（“WORLD”）の2列目（“Japan”）の交点（にあるセル）の数字169,532は世界全体から日本へ輸出した価額（ないし、日本が世界全体から輸入した価額）を示す。

従って、日本の機械機器の輸入額は169,532（1,695億3,200万ドル）である。

この対角にあたる第2行目（“Japan”）の1列目（“WORLD”）の交点にあるセルの数字486,955は日本が世界全体に輸出した価額（ないし、世界全体が日本から輸入した価額）を示すので、日本の機械機器の輸出額は486,955（4,869億5,500万ドル）である。

また、両者（486,955、169,532）の差額（317,423）は、日本の収支（この場合は機械機器貿易の収支）を示し、3,174億2,300万ドルの輸出超過であることを示している。

#### 東アジアに焦点をあてた財別貿易マトリックス 機械機器（2007年）

（単位：100万米ドル）

EXPORT FROM \ IMPORT TO	WORLD	Japan	China	Hong Kong	South Korea	Taiwan	ASEAN (10)	ASEAN (5)
	WORLD (*)	5,598,140	169,532	405,653	252,662	110,808	90,246	348,525
Japan	486,955		61,686	23,950	24,428	23,440	52,062	48,739
China	623,439	43,448	-	130,268	22,152	13,078	48,521	43,727
Hong Kong	210,384	9,340	119,238		5,323	4,910	14,263	13,306
Hong Kong (Re-Export)	207,041	9,128	117,953		5,222	4,780	13,883	12,936
South Korea	241,788	12,446	47,440	12,359	-	7,790	20,313	18,618
Taiwan	135,769	9,454	33,650	22,859	5,235		15,892	15,044
ASEAN (10)	386,733	32,293	37,386	34,543	12,498	11,308		95,007
ASEAN (5)	381,022	30,671	36,992	34,293	12,354	11,211	99,225	93,778
Indonesia	15,788	2,026	574	486	221	158	6,398	6,091
Malaysia	91,332	5,735	7,963	6,332	1,558	2,034	21,943	21,327
Philippines	19,984	3,186	867	2,143	697	582	2,053	1,995
Singapore	176,358	10,005	20,458	20,325	8,566	6,536	52,732	50,214
Singapore (Re-Export)	104,646	4,713	13,579	14,330	5,615	3,353	35,453	33,506
Thailand	77,561	9,717	7,130	5,007	1,312	1,902	16,099	14,150
NAFTA	893,983	30,752	34,377	11,619	19,200	15,908	41,961	40,954
U.S.A.	603,883	29,212	32,130	11,099	18,715	15,686	40,414	39,476
EU (27)	2,317,970	26,856	63,374	12,401	18,453	9,426		41,317
EU (25)	2,301,819	26,833	63,267	12,385	18,403	9,415		41,251
EU (15)	2,054,598	25,960	60,643	11,657	17,714	9,259	43,119	39,791
France	237,856	2,526	8,662	1,316	1,967	1,347	6,346	5,993
Germany	729,526	11,260	30,523	3,678	7,750	3,673	15,131	13,733
U.K.	183,530	3,675	3,529	3,027	1,445	660	4,963	4,751
Russia	16,917	38	1,127	37	88	16	455	358
EAST ASIA (10)	2,079,357	105,359	299,007	223,730	69,493	60,428	250,276	233,213

## 2. 付属表

貿易マトリックスに対応して、さまざまな付表（付属表）を作成している。そのうち、次の3表を紹介する。

- 1) 二国間貿易表
- 2) 特定国貿易表
- 3) 財別貿易表

## 3. 商品分類

財別国際貿易マトリックスを作成しているのは96品目である。各国の貿易統計が使用している統計品目分類番号の上位6桁が各国共通のHS分類であるので、マトリックスの品目はHS分類で定義できる範囲で決めている。

また、HS分類の改定にあわせ対応している。ただし、HS分類の改定によって過去のデータとの整合性を保つことができなくなる場合には、新たな定義に基づいて過去のデータを作成している。

なお、2007年のHS分類の改訂によって、2006年以前と2007年ではHS分類番号が同一であってもHS分類番号の定義が変更となっている場合がある。2007年より新設された品目のうち、関心が高いと思われるもの（例えば、半導体製造装置など）は、貿易マトリックスの作成対象とした。

（注）HS分類では98類、99類を各国の自由裁量にしている。このため、00類、98類、99類の詳細な中身は各国により異なる。例えば米国の場合は少額貨物、非課税分類の品目、修理のために海外に出されたものなど。日本はHS分類未定義の00類に、再輸出（再輸入）品などを定めている。

なお、HS分類では77類を将来のための予備として、現時点では使用していない。